

2019年度 講演、研修会等一覧

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
1	創造工学部	准教授	岡崎 慎一郎	○	頑丈で長持ちする建物のつくりかた	建物の中に居住している人間が、地震時であっても無事であるためには、建物が頑丈であり、この頑丈さが長続きしなくてはなりません。この講義では、頑丈で長持ちする建物のつくりかたについて学びます。	高校生、一般など、応相談	随時	
2	創造工学部	教授	長谷川 修一	○	地域の災害特性を知ろう	災害から身を守るには、自然災害の知識だけでなく、地域の災害特性を知る必要があります。地域の災害特性は、ある程度地形から知ることができます。災害列島における暮らし方を考えてみましょう。	高校生、一般など、応相談	随時	
3	創造工学部	准教授	八重樫 理人	○	地域活性化のための情報技術活用について	八重樫研究室が開発した広告表示プリンタシステム「カダボス/KadaPos」や観光日記生成印刷システム「KaDiary/カダイアリー」の開発を通して得た知見から、地域活性化のための情報技術活用について説明する。	高校生、一般など、応相談	随時	
4	創造工学部	教授	佛圓 哲朗	○	クルマのコンセプトとデザインについて -その歴史と考え方-	クルマのデザインの歴史の中から、クルマの進歩、特に技術やクルマのコンセプトの考え方を述べる。この中でイノベーションは突然生まれてきているのではなく、過去にその原型があることを学んでいただく。	高校生、一般(青年、壮年、高年)、企業の方	随時	90分程度
5	創造工学部	教授	佛圓 哲朗	○	自動車の電動化と環境問題を考える	20-30年後のモビリティ社会における自動車の電動化(電気自動車、燃料電池車、プラグインハイブリッド車、など)を取り上げ、環境問題(CO2低減と排気ガス浄化)との関連を含めた開発の歴史と今後の動向を説明する。	高校生、一般(青年、壮年、高年)、企業の方	随時	90分程度
6	創造工学部	教授	佛圓 哲朗	○	20-30年後のモビリティ社会における自動運転技術の役割 -高齢社会変革の鍵となるのか?-	20-30年後のモビリティ社会における自動運転技術を取り上げ、その開発の歴史を述べる。自動運転技術を人間中心デザインの視点から再構成することによって、高齢社会の変革に一石を投じる可能性について説明する。	高校生、一般(青年、壮年、高年)、企業の方	随時	90分程度
7	創造工学部	教授	長谷川 修一	○	大地の成り立ちから地域の強みと弱み考える讃岐ジオパーク構想	地域への愛着や誇りを持つには、大地の成り立ちから地域の歴史・文化や産業を再評価する必要があります。本セミナーでは魅力やお宝を大地の成り立ちから一緒に再発見する讃岐ジオパーク構想を紹介します。	一般成人、中高生	応相談	
8	創造工学部	教授	吉田 秀典	○	土壌汚染や汚染水の浄化について	汚染されてしまった土壌や水の浄化手法の説明を通して、環境保護の重要性と悪化した環境の修復の重要性を学んで頂くのと同時に、環境保全や環境修復には、科学的な手法が重要であることを理解して頂く。	中学生以上	応相談	
9	創造工学部	准教授	岡崎 慎一郎	○	コンクリート工学	コンクリート工学に即した内容			
10	創造工学部	教授	長谷川 修一	○	地域の災害特性を知ろう	地域を災害特性を知ること、防災のための第一歩です。本セミナーでは、地形図やハザードマップを使って、お住まいの地域の災害特性を一緒に考えます。	応相談	一般成人	
11	創造工学部	教授	長谷川 修一	○	讃岐ジオパーク構想-大地の成り立ちから地域の強みと弱み考える-	地域への愛着や誇りを持つには、大地の成り立ちから地域の歴史・文化や産業を再評価する必要があります。本セミナーでは魅力やお宝を大地の成り立ちから一緒に再発見する讃岐ジオパーク構想を紹介します。	応相談	一般成人	
12	医学部	教授	三木崇範	○	養育環境が子供の脳発達に及ぼす影響	当研究室の研究データを踏まえ、母子分離に焦点をあてて幼少期の養育環境の重要性を説く。	高校生、大学生、一般	応相談	
13	医学部	准教授	鈴木 辰吾	○	〃	〃	〃	〃	

番号	部局等名	職名	氏名	講演・ 研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
14	医学部	助教	太田 健一	○	〃	〃	〃	〃	
15	医学部	教授	三木崇範	○	アルコールが脳に与える影響	妊婦が摂取するアルコール(飲酒)により子供に精神神経発達遅滞をはじめ様々な影響をもたらす。これを胎児性アルコール症候群と称している。研究結果をもとに脳の発達に及ぼす影響について概説する。	高校生、大学生、一般	応相談	
16	医学部	准教授	鈴木 辰吾	○	〃	〃	〃	〃	
17	医学部	助教	太田 健一	○	〃	〃	〃	〃	
18	医学部	教授	西山 成	○	生活習慣病に対する新薬開発の紹介	生活習慣の変化によって生じる肥満、糖尿病、高脂血症に伴う脳心血管・腎臓病や癌などの最新の治療法開発を紹介する	高校生以上	平成30年度は予定なし	
19	医学部	准教授	中野 大介	○	腎臓がどのように尿を作っているか	体における腎臓(生体維持)の大切さと腎臓がどのように尿を作っているかを説明する。	高校生～医師	応相談(平成30年度は予定なし)	
20	医学部	教授	上田夏生	○	脂質のはたらきと病気との関連	脂肪やコレステロールなど、人体に含まれる様々な脂質について、その役割と病気との関連をわかりやすく解説する。		平成30年度は予定なし	
21	医学部	准教授	大西平	○	〃	〃		〃	
22	医学部	助教	宇山徹	○	〃	〃		〃	
23	医学部	教授	和田健司	○	暮らしを支える化学	我々の社会と生活に無くてはならないエネルギーや各種製品、環境の保持には、化学が深くかかわっている。こうした化学について、実例を挙げて判り易く解説する	高校生、一般	要相談	要相談
24	医学部	助教	小川 崇	○	ホルモンの話	ホルモンの一般的な性質と病気との関わりを解説する。ホルモンの化学的な構造や特徴と人体における役割、ホルモンの関わる各種疾患について紹介したい。	一般の市民	10月-12月(平成30年度は予定なし)	50人程度の参加者
25	医学部	教授	中村隆範	○	〃	〃	〃	〃	〃
26	医学部	助教	野中 康宏	○	〃	〃	〃	〃	〃
27	医学部	助教	小川 崇	○	ホルモン探索の歴史と日本人の貢献	ホルモンが発見された経緯から、ホルモンの生体内での役割について簡単に解説するとともに、そこで果たした日本人の貢献について紹介したい。	一般の市民	10月-12月(平成30年度は予定なし)	20人程度の参加者
28	医学部	教授	中村隆範	○	〃	〃	〃	〃	〃
29	医学部	助教	野中 康宏	○	〃	〃	〃	〃	〃

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
30	医学部	准教授	久富信之	○	PET撮像から診断画像まで	PET検査で撮像したデータを診断するための画像写真に加工するまでの理論について紹介	ソフト関連の企業	9月から12月	
31	医学部	准教授	横平 政直	○	なぜ、人はがんになるのか(がん細胞発生のメカニズム)	正常細胞からがん細胞が発生するまで、遺伝子レベルでの変化に着目し解説します。また、そのような遺伝子変化を起こす要因やその予防についての話も盛り込みます。	小学生から一般の方まで、対象者に合わせて講演内容を調整します。	応相談	
32	医学部	理事・副学長	今井田克己	○	食の安全性評価	食品添加物等の安全性評価について概説する	一般		
33	医学部	教授	星野克明	○	ウイルスや細菌などの外敵から自分のからだを守る仕組み-免疫-の研究について	免疫は外敵から自分を守るだけではなく、アレルギーなどの病気を起こす原因にもなります。免疫の仕組みについて解説します。	高校生以上	平成30年度は予定なし	
34	医学部	助教	仁木敏朗	○	〃	〃	〃	〃	
35	医学部	助教	財賀大行	○	〃	〃	〃	〃	
36	医学部	教授	星野克明	○	糖鎖結合タンパク質(レクチン)のバイオロジー	細胞表面に存在する多種多様の糖鎖の情報は糖鎖結合タンパク質(レクチン)によって読み取られる。レクチンの機能と応用について演者の研究を中心に概説する。	高校生以上	平成30年度は予定なし	
37	医学部	助教	仁木敏朗	○	〃	〃	〃	〃	
38	医学部	助教	財賀大行	○	〃	〃	〃	〃	
39	医学部	准教授	新井 明治	○	寄生虫病		一般	平成30年度は開講しない	
40	医学部	助教	田中健	○	顧みられない熱帯病-主に原虫病について-	熱帯地域の貧困層に蔓延している寄生虫症のうち、原虫によって引き起こされるマラリア、アフリカ睡眠病、シャーガス病などについて、その現状と対策を紹介する。	中学校、高校生、一般	平成30年度は開講しない	公共交通機関を利用できる場所に 限る
41	医学部	教授	桑原知巳	○	第10回 3大学学術交流会	香川総合医療教育研究コンソーシアム構想にもとづき、香川大学医学部、徳島文理大学、香川県立保健医療大学の教員が最新の研究成果に関する講演を行う。	3大学の教員および学生、一般の参加者	12月上旬~中旬	
42	医学部	助教	神田 かなえ	○	明日が変わる子育て講座-トリプルP前向き子育てプログラム-	子育て技術の向上と子どもの問題行動および親のストレスを減少させることを目的に、保護者等が前向きに子育てを行えるための理論と技術を実践的に紹介します。	子育て中の保護者および子どもの養育に関わるすべての人々、小学校、幼稚園、保育園および企業等	平成30年度は予定なし	
43	医学部	助教	神田 かなえ	○	自宅でする！ふくらはぎマッサージ	ふくらはぎをマッサージすることで、体の血流を促進し、自律神経を整えることができます。ふくらはぎマッサージを自宅でセルフで簡単にできる方法をお伝えします。	一般	平成30年度は予定なし	
44	医学部	助教	神田 かなえ	○	ツボ療法で健康生活を	東洋医学で捉える健康について解説し、鍼灸治療を紹介したり、自分でできるツボ療法を症状と合わせてお伝えします。		平成30年度は予定なし	

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
45	医学部	教授	平尾智広	○	災害と健康管理	南海トラフ巨大地震などの災害発生時に必要となる健康管理の知識を紹介します。個人や家族、社員を守るために、避難所へ避難してきた人を守るために必須の事項です。	どなたでも可能	日程調整が必要	
46	医学部	教授	平尾智広	○	人にやさしい働き方	労働災害、過重労働、過労死から、かけがえのない人を守り、ワークライフバランスを実現し、健康で豊かな社会を実現するために、ともに考えましょう。	どなたでも可能	日程調整が必要	
47	医学部	教授	木下博之	○	アルコールの身体への影響	日常生活で接する機会の多いお酒について、その作用、代謝、個人差が生じる要因などについて理解を深める	高校生以上	応相談 平成30年度は予定なし	H29年度提出済み。調査票別紙追加
48	医学部	講師	田中直子	○	〃	〃	〃	〃	〃
49	医学部	講師	祖父江 理	○	慢性腎臓病について	国民病慢性腎臓病についての講演です。市民向けです。	一般	応相談	
50	医学部	准教授【寄附講座】 循環器・腎臓疾患地域医療学 講演	西島 陽子	○	〃	〃	〃	〃	
51	医学部	助教	守時 政弘	○	〃	〃	〃	〃	
52	医学部	講師	祖父江 理	○	臓器提供・臓器移植について	臓器提供に関する啓発です。	主に中高生	要相談	祖父江のみ
53	医学部	准教授【寄附講座】 地域連携精神医学	安藤延男	○	うつ病とは	うつ病に関する理解を深めることができるようにわかりやすくその疾病概念などを説明する。	一般(青年、壮年、高年)	平成30年度は予定なし	なし
54	医学部	准教授	角 徳文	○	精神疾患、認知症など	その病気の特徴、症状、診断や治療など	小学校、中学校、高校生、一般(青年、壮年、高年)	スケジュールに合えば随時	
55	医学部	助教	今井秀記	○	サラリーマンのうつ病について	サラリーマンの体調不良は、一見うつ病には見えないことがあるが、軽症うつ病であることがある。その特徴について。	サラリーマン	特に制約はない。	30分程度
56	医学部	助教	山中真美	○	認知症の一般的な知識	認知症の分類、特徴。また、treatable dementiaについてはそれぞれの特徴や予防法などについて。1時間から1時間半程度の講演となると思われます。	一般(青年、壮年、高年)	平成30年度は予定なし	配布資料はありません。
57	医学部	助教	篠原 朝美	○	メンタルヘルス	ストレスについて理解を深め、自分でできるメンタルヘルス対策についてお伝えする。	一般 高校生	平成30年度は予定なし	

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
58	医学部	助教	篠原 朝美	○	惨事ストレス	惨事ストレスについて十分に理解し、その対策についてお伝えする。	一般 特に消防や警察など災害救助を職務とする人	平成30年度は予定なし	
59	医学部	教授	中村 祐	○	認知症の薬物療法	認知症(特にアルツハイマー型認知症)の薬物療法に関して中核症状及びBPSDに関して副作用など注意点を含めて行う。	医師、薬剤師	平成30年度は製薬企業主催以外では予定なし	
60	医学部	助教	木戸瑞江	○	児童精神・発達・不登校	乳幼児期。それ以降の精神発達また、小中学校に多い不登校、精神疾患や発達障害について	特に限定なし	平成30年度は予定なし	
61	医学部	助教	加藤 育子	○	子育て支援	小児科医による子育て講座、育児相談	赤ちゃんのご家族 等	1時間程度	
62	医学部	准教授	下野隆一	○	子供の腹痛、外傷	小児の急性腹痛、異物誤嚥、誤飲	一般	通年	スライド上映
63	医学部	助教	田中 彩	○	小児の急性腹痛	小児に多い急性腹痛について、気を付けたいこと	一般(小学校・幼稚園の保護者や先生)	特になし	
64	医学部	准教授	紺谷 桂一	○	乳がんなんかには罹らない、負けない!	乳がん患者数は年々増加しており日本女性11人に1人が乳がんにかかっている。しかし乳がんは比較のおとなしく治療も効きやすい。したがって早期発見・治療が最も重要である。乳がん予防と診断治療の現状について講演する	一般	現在「イキイキさめき健康塾」開講中 年1回程度なら可能	日程は遅くとも3ヶ月前には知らせてほしい
65	医学部	助教	山下彩奈	○	加齢黄斑変性	上記の治療について	一般	平成30年度は予定なし	
66	医学部	助教	小野 葵(休職者)	○	加齢黄斑変性	上記基本的内容・治療について	一般	平成30年度は予定なし	
67	医学部	助教	新田 恵里	○	緑内障	緑内障とはどのような疾患か、緑内障の治療方法、早期発見についてなど	一般	平成30年度予定なし	
68	医学部	助教	藤田智純	○	網膜剥離	上記の治療について	一般	平成30年度は予定なし	
69	医学部	准教授	白神千恵子	○	加齢黄斑変性	疾患説明と治療	中高齢者	8月	
70	医学部	教授	白神 豪太郎	○	麻酔科学, 周術期医学, 集中治療医学, 痛み医学, 緩和医学に関するテーマ	手術の麻酔, 手術による痛みの緩和, 重症患者のケア, 慢性痛, 癌性痛など			
71	医学部	准教授	中條 浩介	○	〃	〃			
72	医学部	講師	浅賀 健彦	○	〃	〃			
73	医学部	講師	山上 有紀	○	〃	〃			

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
74	医学部	助教	別宮 小由理	○	〃	〃			
75	医学部	助教	澤登 慶治	○	〃	〃			
76	医学部	助教	築瀬 賢	○	〃	〃			
77	医学部	教授	黒田 泰弘	○	救急処置及び救急体制について	救急処置及び救急体制について	香川県小学校養護教諭	2018年7月27日(金) 10:30-11:30	
78	医学部	助教	奥山 浩之	○	膵がんについて、膵消化管神経内分泌腫瘍について	膵がんについて、膵消化管神経内分泌腫瘍について	一般	要相談(平成30年度は予定なし)	
79	医学部	教授	辻 晃仁	○	がん治療の夜明けー新しいくすりの導入ー	くすりの治療やゲノム(遺伝子)診療の進歩は目覚しく、がん治療は大きく変貌しました。最新のがん治療につきお話しします。	一般	要相談	
80	医学部	教授	峠 哲男	○	パーキンソン病とその関連疾患の話題	パーキンソン病と関連疾患について、疾患の特徴や最新の治療法、予防法について講演する	一般の成人のかた	随時相談	パソコンが使えること
81	医学部	教授	峠 哲男	○	神経内科疾患について	神経内科とはどのような疾患を扱って、どのような検査や治療を行うかの概説	一般の成人のかた	随時相談	パソコンが使えること
82	医学部	教授	清水 裕子	○	カンボジア国における学校保健教育を通して国際支援のあり方を考える	2017年3月から香川大学が香川県、JICA、カンボジア教育青年スポーツ省と連携してカンダール州における学校保健支援事業を実施している。35年ほど前に内戦を経験したカンボジアが未だ直面している教育課題への、国際的な相互支援のあり方をお話し、平和を考える。	小学校、中学校、高校生、一般(青年、壮年、老年)、企業、教育関係者	年間	プロジェクション環境
83	医学部	講師	金正 貴美	○	終末期医療と看護	終末期にあり死に臨もうとしている人やそのご家族を支える看護について知ることで、自分らしく生きるありようについて、考える機会とする		平成30年度は予定なし	
84	医学部	教授	松井妙子	○	高齢者の在宅ケアを考える	高齢者の在宅療養を支援する制度、在宅療養時に必要な医療的ケアの知識と技術など	一般(壮年、老年)	5月から9月	
85	医学部	非常勤職員(TA)	沖 亜沙美	○	認知症高齢者への対応について	認知症高齢者への対応を、看護の視点からわかりやすく解説実技演習も交えて、日々の生活実践に活かす	高校生から一般の青年、壮年対象	平成30年度は5月～9月	
86	医学部	教授	岡田 宏基	○	医学的に説明困難な症状への対応	いわゆる「不定愁訴」と呼ばれていた症状の解明が少しずつなされてきている。諸外国での研究内容や、香川県での頻度調査を元に、対応の仕方について講義する。	一般市民	平成30年度は予定なし	
87	医学部	講師	村上 和司	○	虚血性心疾患とカテーテル治療について	虚血性心疾患とカテーテル治療について説明します(一般向け)	一般	応相談	

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
88	医学部	教授【寄附講座】循環器・腎臓疾患地域医療学講座	辻 哲平	○	心肺蘇生とAED	心肺蘇生法とAEDの使用方法について説明します	1)小学生・中学生・高校生・大学生 2)教員・管理者 3)一般 4)企業	応相談	
89	医学部	教授	南野 哲男	○	循環器一般	循環器疾患について説明します	一般	応相談	
90	医学部	准教授	野間 貴久	○	心疾患の健康管理	心疾患の健康管理について1)一般 2)教員・管理者 向けに説明します	1)一般 2)教員・管理者	応相談	
91	医学部	教授	永竿 智久	○	形成外科で治せること	形成外科は体表の変形を、手術によって治す医療分野です。ケガによるキズアトから、がんの手術や外傷により生じた欠損、または先天奇形まではば広い内容を治療することができます。具体的な治療例をご紹介します。	一般の方・学生の方	年中適宜	特にありません
92	医学部	教授	柴田 徹	○	①よく分かるがんの基礎知識 ②放射線治療について	① 1)肺がん、2)前立腺がん、3)乳がん、4)咽頭・喉頭がん、5)子宮がん、および6)がん全般について、ご要望に合わせて基礎知識から最先端治療まで分かりやすく解説します。② 切らずにがんを治せる放射線治療の最新情報について説明します。	一般成人、一般県民、各種団体、企業等	応相談	
93	医学部	教授	柴田 徹	○	〃	〃	〃	〃	
94	医学部	助教	高橋 重雄	○	〃	〃	〃	〃	
95	医学部	教授	正木 勉	○	B型肝炎における最新治療	B型肝炎における最新治療とは	一般市民・開業医	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
96	医学部	教授	正木 勉	○	生活習慣病に関連した肝臓病	生活習慣病に関連した脂肪肝について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
97	医学部	准教授	出口 一志	○	パーキンソン病の進歩	最近のパーキンソン病の診断と治療について概説する	一般市民・開業医	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
98	医学部	准教授	出口 一志	○	高齢者のてんかん	高齢者で増加が指摘されているてんかんについて概説する	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
99	医学部	教授【寄附講座】地域医療連携医学講座	森 宏仁	○	最先端内視鏡治療について	昨今の内視鏡診断の最先端と内視鏡治療・手術について概説する	一般市民、医師	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
100	医学部	講師	小原 英幹	○	消化管粘膜下腫瘍の診断と治療について	正常粘膜で覆われた消化管の粘膜下に発生する様々な腫瘍の疫学、病態、診断、および治療について最新の知見も踏まえて講義する。	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
101	医学部	助教	米山 弘人	○	C型肝炎の診断と治療	C型肝炎の診断と治療-最新の情報提供-	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
102	医学部	助教	森下 朝洋	○	非アルコール性脂肪性肝疾患の診断と治療	非アルコール性脂肪性肝疾患の診断と治療について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
103	医学部	助教	鎌田 英紀	○	胆・膵内視鏡治療、膵がんの診断	胆・膵内視鏡治療、膵がんの診断について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
104	医学部	助教	加藤 清仁	○	胆道、膵臓の疾患と治療について	胆道、膵臓の代表的疾患における診断、治療の最新知見について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
105	医学部	助教	野村 貴子	○	肝がんの内科的治療	肝細胞癌における内科的な最新治療について	一般市民・開業医	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
106	医学部	助教	野村 貴子	○	女性に多い肝臓病	原発性胆汁性胆管炎や自己免疫性肝炎について	一般市民	適宜	映像設備(プロジェクター等)あり
107	医学部	教授	杉元 幹史	○	*頻尿、尿失禁(尿が近い、漏れる)、*泌尿器科がんについて、*前立腺がんについて		一般市民		
108	医学部	准教授	宮武 伸行	○	楽しく学んで、楽しく実践、やさしい健康講座	1)メタボのはなし、2)糖尿病のはなし、3)熱中症のはなし、4)高齢者の健康のはなし、5)運動のはなし、6)食事のはなし、7)こころのはなし、8)尿検査、便検査のはなし、9)たばこのはなし、10)健康診断のはなし、11)高血圧と生活習慣のはなし、12)がん予防のはなし、13)食中毒のはなし、14)ジュースのはなし、15)うんこのはなし、16)すいみんのはなし	1)~13)は中学生以上、14)~16)は小学生対象	応相談	運動実技のある場合があります。社会人大学院生等の参加の場合もあり。小学生は20分程度から柔軟に対応します。
109	医学部	特命助教	鈴木 裕美	○	明日が変わる子育て講座	前向き子育てプログラム(Positive Parenting Program:トリプルP)をもとに、良好な親子関係の築き方、有効なしつけの仕方、やり抜く力などの非認知能力の伸ばし方を学習します。ビデオをみて自分の子育てを振り返り、ロールプレイや話し合いをしながら、子どもへの具体的な接し方を参加型学習で学びます。	保護者、祖父母、育児に関わる教育・行政の方	応相談	
110	医学部	教授	林 智一	○	カウンセリングの基礎—よりよい聴き手となるために—	マイクロカウンセリングをもとにしたカウンセリング技法と、カウンセリングの基礎理論について、わかりやすく講義する。研修時間によっては、技法論のみでも可。	一般、教育・福祉・医療など対人援助に関わる業務に携わっている人	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	
111	医学部	教授	林 智一	○	老いのこころを知る—高齢者の心理学—	高齢者の心理的特徴や心理的問題について、わかりやすく講義する。要望があれば、認知症に対する心理療法的アプローチについても紹介する。	一般、教育・福祉・医療など対人援助に関わる業務に携わっている人	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	
112	医学部	教授	林 智一	○	職場におけるチームアプローチ—実習を中心に—	チームのメンバーが、民主的で対等な関係の中で協働するためになにが必要か。実習の後、ミニレクチャーを行う。	一般、教育・福祉・医療など対人援助に関わる業務に携わっている人	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	3時間の研修とする。それより短時間では実施不能。
113	医学部	教授	林 智一	○	高齢者に対するカウンセリングの実際—ライフレビューを中心に—	高齢者に対するカウンセリングにおいて特に有用であると思われる、ライフレビューという方法を紹介する。	心理臨床および福祉・医療の専門職、高齢者介護に携わる家族など、実践に関わる人	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	
114	医学部	教授	林 智一	○	青年期のこころを知る—青年心理学の基礎—	青年心理学の知見をわかりやすく講義する。また、青年のこころの世界がよく反映されていると思われる歌詞を紹介して、解説する。	一般、教育関係者	平日なら、林が大学で授業のない時間帯(年度により異なる)。土日可。	会場に、CDを再生できる設備があること。

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
115	教育学部	教授	岡田知也	○	エネルギー思考による楽曲分析に基づいた音楽表現	作曲家が自身の作品に託した表現(思いや意図)を、合唱曲や器楽曲等のアナリーゼを通して探っていきます。その際、エネルギー思考により楽曲分析を行う保科洋の理論を手がかりとします。	音楽科担当教員、合唱部・吹奏楽部等の顧問・指導者		
116	教育学部	准教授	吉川暢子	○	子どもの豊かな表現を育む遊び	子どもは遊びの中からたくさんのことを学んでいます。しかし、子どもに「〇〇させる」という行為を大人や教師が押し付けていないでしょうか？そこで、子どもが自ら「やりたい」と思う遊びや子どもの表現について考えます。	保育者、幼児の親、親子		講義スタイルではなく実技や演習を伴うワークショップ形式
117	教育学部	教授	宮前義和	○	教育臨床における認知行動療法の活用	教育臨床において、認知行動療法をいかに活用するかに関して講演・研修会等でお話をいたします。	小学校、中学校、高等学校教員	8月	
118	教育学部	准教授	宮本賢作	○	身体活動・運動に関する理解について	身体活動環境という考え方をもとに、人々が身体活動や運動を行いやすい環境整備の重要性とともに、運動が推奨されている背景(一次予防、医療費等)について概説します。	一般	応相談	
119	教育学部	教授	高橋尚志	○	科学することの喜び	科学実験とお話により、科学することの意味を考えます。	小学校、中学校、高校生、一般	応相談	
120	教育学部	教授	高橋尚志	○	表面の科学	物質の表面に光をあてて電子を見る科学 表面物性を実験で見る方法を解説し、生活の中でどう結びつくのかお話しします	中学校、高校生、一般	応相談	
121	教育学部	教授	高木由美子	○	イオン液体の話	環境に優しい材料研究の大切さや、化学の面白さについてイオン液体を材料に概説する。	行事内容・対象に合わせる	公務に支障のない時期	
122	教育学部	教授	佐藤明宏	○	国語の授業のつくりかた	小、中、高等学校の国語科教員を対象に、国語の授業の教材研究の仕方、教材開発の仕方、学習指導案の書き方、具体的な発問、板書、ノート指導の方法等について講義したり、国語科授業づくりのアドバイスをします。	小、中、高等学校の国語科教員	いつでもよい	
123	教育学部	教授	山下直子	○	日本語教育入門	日本語を母語としない人が、どのように日本語を学ぶのかについて考えます。	関心のある方	応相談	
124	教育学部	教授	山本 木ノ実	○	親と子のかかわり	気になる不登校やいじめ、発達障害等への対応について、安心できる場づくりや兆候が現れた時のかかわり方について考えます。	小・中学生の保護者	応相談	
125	教育学部	教授	時岡晴美	○	少子高齢化における生活経営と地域居住	少子高齢化がますます進展する現代社会において、主体的に家庭や地域における生活を営んでいく重要性をふまえ、現代における生活の変容過程について学習することによって生活の将来像を構想する力を養うものとして。	一般		
126	教育学部	教授	小方朋子	○	特別支援教育について	教育関係者、保護者、高校生に対して発達障害や特別支援教育について解説	教育関係者、保護者、高校生		
127	教育学部	准教授	松井剛太	○	障害のある子どもの保育について	障害のある子どもの保育に関して、就学前施設での具体的な支援等			
128	教育学部	准教授	松島 充	○	算数・数学の深い学びを実現する算数・数学授業のコツ	算数・数学授業において、深い学びを実現するにはどのようなポイントがあるのかを、参加者全員で実際に体験しながら学びます。	小学校教員、中学校教員	応相談	

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
129	教育学部	准教授	松本博雄	○	乳幼児期の発達と遊びを支える—みんなでつくる豊かな保育	乳幼児期から学童期の発達を心理学的視点から読み解き、保育実践を豊かにするヒントを探るとともに、保育を通じてこれからの社会のあり方を考える	幼稚園教諭・保育士・子育て支援関係者・学童保育関係者・小学校教諭等		
130	教育学部	教授	上野耕平	○	児童期におけるスポーツ指導	児童期におけるスポーツ指導の在り方について、スポーツ心理学の観点から説明します。	一般	随時	
131	教育学部	教授	植田和也	○	心の教育、子どもへのかかわり、	子どもの心の教育について、道徳や家庭教育を通して具体的に考える。また、子どもへの関わりについて、学校教育と家庭教育の役割等について考える。	一般	応相談	
132	教育学部	教授	北林雅洋	○	現存する砂糖車の車石から見えてくること	砂糖車はサトウキビから汁を絞る機械。絞るローラーの部分の木製から石製に変えたのが久米通賢(1780-1841)。そこで使われた石製のローラー(車石)がいろいろな所に残っている。香川県内だけでなく熊本や沖縄などにも。	一般		
133	教育学部	教授	妹尾理子	○		衣・食・住生活と地域の環境・文化	一般	応相談	
134	教育学部	教授	山神 真一	○	心とからだの健康づくり	人と人とのコミュニケーション遊びを通して、笑顔で生き生きと過ごせる健康づくりを実技を交えて行います。	中高年層	応相談	
135	教育学部	教授	野崎武司	○	スロージョギングで楽しく健康づくり	スロージョギングの実施方法とその効用を伝える。できれば実技を含めて。(野崎は、日本スロージョギング協会の公認アドバンス・インストラクターである)	一般	日程調整ができ次第	運動できる服装(実技の場合)
136	教育学部	教授	柳澤良明	○	学校教育の国際比較—日独比較を中心に—	日本の学校教育と諸外国(おもにドイツ)の学校教育をさまざまな観点から比較することで、日本の学校教育が持っている優れた点や今後改善すべき点について考える。	高校生、一般(青年、壮年、高年)、教員、等	とくに制限なし。	柳澤からの情報提供の後に、参加者との質疑応答や意見交換ができればと思います。
137	教育学部	教授	恵羅修吉	○	学習困難を心理学的に分析する	読み書き・算数などの学習困難の背景にある認知機能特性について心理学的に分析します。	特別支援教育に関わる教員	応相談	
138	経済学部	教授	宮脇秀貴	○	ビジネスゲームで経営を体験	ビジネスゲームを用いて、企業を経営する模擬体験を行います。また、特に会計情報の活用の仕方を学ぶ体験となります。	小学校・中学校・高校生・一般	授業その他の関係で変わります。	打ち合わせによって決まります。
139	経済学部	准教授	山本 裕	○	日露戦争と香川・四国	近代日本における最初の「総力戦」とも見られる日露戦争について、当時の香川・四国の青壮年の「経験」について、政策史・地域誌にも留意しながら考えます。	高校生・一般(青年、壮年、高年)	夏休み・春休み以外	
140	経済学部	教授	沖 公祐	○	資本主義の仕組み	資本主義は、歴史上のある時点にある場所で成立した特殊な経済システムである。この特殊歴史的な経済システムとしての資本主義がどのようにして成り立っているのか、をできるだけ分かりやすく説明する。	高校生、一般	いつでも可	
141	経済学部	准教授	大杉奉代	○	経営戦略	企業の基本的方向性を設定する経営戦略に焦点をあて、これまでの経営戦略論における論点を提示し、企業の経営戦略に関するさまざまな分析手法について講義を行う。	中学校、高校生、一般(青年、壮年、高年)、企業	相談(公務をさまたげない限り可能)	
142	経済学部	准教授	松岡久美	○	組織のマネジメント	経営革新、リーダーの育成・継承など、企業のライフステージに応じた経営課題とその対処法に関して。	一般	応相談	

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
143	経済学部	教授	西成典久	○	都市計画・まちづくり・景観デザイン・観光施策	地方中小都市における持続的なまちづくり施策について、コンパクトシティ、空家対策、景観整備、観光・地域産業振興、人づくりなど、自治体を中心として取り組むべき個別課題の総合的解決策について理解を深める。	一般、自治体関係者	応相談	
144	経済学部	教授	青木宏之	○	日本の雇用システム	日本企業の雇用システムの特徴、歴史など。	一般	指定なし	
145	経済学部	教授	長山貴之	○	地方財政について	都道府県や市町村の財政状況について説明します。将来人口の推計や公務員の給与水準など、地方財政に関連するテーマを含みます。	一般	8月～9月、2月～3月	
146	経済学部	教授	藤村和宏	○	サービス業におけるマーケティングの方向性	サービス業における成長を維持・促進するには品質や顧客満足の上昇が必要不可欠であることから、品質向上のための組織内部に対するマーケティングと顧客満足向上のための市場に対するマーケティングについて解説する	サービス関係の企業	通年可能	
147	経済学部	教授	姚峰	○	国際観光客地域選択の社会経済要因分析	応相談	一般成人 高校生		
148	経済学部	教授	姚峰	○	ノーベル経済学賞と時系列関係の因果分析	応相談	一般成人 高校生		
149	経済学部	准教授	藤原敦志	○	金融政策と日本経済	アベノミクスの「三本の矢」の1つとして採用された「大胆な金融緩和」について説明する。その政策の理論的な根拠や、実際の効果、副作用の有無などについて検討する。	高校生、一般	いつでもよい	
150	経済学部	教授	井上善弘	○	公認会計士監査	公認会計士監査の社会的な機能について			
151	経済学部	教授	持田めぐみ	○	私たちの暮らしと「経済学」	私たちの暮らしに関係するテーマについて、「経済学」の視点から解説します。	一般	応相談	マイクとパワーポイントを使用しますので、設営準備をお願いします。
152	経済学部	教授	朴恩芝	○	財務会計	企業の経済活動をまとめ、内部および外部のステークホルダー情報提供するためのものである会計についての講義。	一般	学期中	
153	経済学部	教授	園部裕子	○	フランスの女性移住者による市民団体活動	フランスに在住する西アフリカ出身女性が、受入社会と出身社会の間でコミュニケーション促進のために行う、市民団体活動について、現地調査から解説する。	一般	応相談	
154	地域マネジメント研究科	教授	中村正伸	○	元経営コンサルタントから見た、会計の使い道	会計は、財務会計と管理会計に大きく分けられます。その2つの側面をどう活用して組織は活動しているのか、主に民間企業を題材に、会計の原則と実務での実態を踏まえて、一緒に検討していきます。	一般	秋学期	
155	地域マネジメント研究科	教授	中村正伸	○	予算って何？	組織で働いた経験のある方で、「予算」という言葉を聞いたことが無い人はいないはずですが、予算にはどんなことが期待されているのか、組織はなぜ予算を使うのか、予算の現代的な意義は何なのかを検討していきます。	一般	秋学期	
156	地域マネジメント研究科	准教授	吉澤康代	○	組織開発、人材育成、キャリア研修	組織開発：組織風土調査の活かし方 人材育成：求められるリーダー像 キャリア研修：キャリアワークショップ、キャリア面談	一般(社会人向け)		キャリア研修は費用が発生します。

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
157	地域マネジメント研究科	教授	関 庚炫	○	顧客起点のマーケティング戦略	マーケティングの基礎知識やフレームワークに関する解説を行うことで、顧客起点のマーケティング戦略の意味及び戦略立案過程に関する理解を深める。	マーケティングに興味のある一般の方及び企業		
158	地域マネジメント研究科	教授	岩本直	○	これからの高齢化社会を生き抜く方法を考える —高齢化社会の課題を知り、自分自身の対応方針を立てよう—	①これからの高齢化社会に発生する課題をまとめます(介護、税収不足、労働不足等) ②①で示した課題に対する自分自身でできること、自分が社会にできることを提示します。 ③なお、本講義では健康、年金といったような個人に関するものは取り扱いません。本講義では高齢化社会到来に係る地域の課題をまず理解し、これらの地域課題に対する自分自身の対応方針等について考えていく内容となっています。	高齢者、一般社会人、高校生、大学生、主婦、企業経営者、行政及び商工会議所・商工会職員等	応相談	
159	地域マネジメント研究科	教授	板谷和彦	○	現代社会において科学技術とどう向き合うか	様々なテクノロジーが氾濫する今日、そもそも「科学技術」とは何か、どう向き合うかが重要となっています。この疑問に答えるべく、基本的な知識と考え方のヒントを差し上げます。	一般(青年を希望するが、他の年齢層も可)	前期	
160	法学部	教授	青木 文	○	消費税の軽減税率制度の仕組みと問題点	2019年10月の消費税率引上げ(8%→10%)と併せて導入される予定の“軽減税率制度”の仕組みを解説し、その問題点を考えます。	一般	応相談	
161	法学部	教授	青木 文	○	マイナンバー制度の仕組みと今後の展望	2016年1月から始まっているマイナンバー制度の現在の仕組みを解説し、その問題点や今後の展望を考えます。	一般	応相談	
162	法学部	教授	金 宗郁	○	地方議会の現状と課題	地方議会の機能と現状を踏まえながらその課題について検討する。	一般	応相談	
163	法学部	教授	金 宗郁	○	住民参加の現状と課題	自治体における住民参加の現状と課題について検討する。			
164	法学部	准教授	山本 慎一	○	国際法・国際連合の役割と日本	国際社会の秩序を形成している国際法や国連の役割と課題、日本との関係性などについて、身近な事例を素材に解説することで、現代国際関係に対する理解を深める。	一般	相談により決定	具体的なテーマは相談により決定。
165	法学部	教授	鹿子嶋仁	○	個人情報と法	個人情報保護に関する法制度を素材として、現代社会における個人情報の意義とその保護の必要性や保護の仕組み等を、具体的事例を用いながら解説する。	一般(社会人、企業法務関係者、自治体職員等)	公務に支障がない範囲で随時	
166	法学部	教授	鹿子嶋仁	○	自治基本条例について	自治基本条例の制定を検討する自治体職員や市民向けに、複数の自治体で制定作業に携わった経験から、制定の意義や効果、策定過程等につき解説。	一般(主に自治体職員・議員向け)	公務に支障がない範囲で随時	
167	法学部	教授	鹿子嶋仁	○	地方公務員向け職員研修(行政法)	地方公務員(特に初任者)に向けた行政法に関する講義・研修会。法律を専攻していない方でも、行政職員として、ぜひ理解しておいてもらいたい基礎的な事項を解説。	地方公務員	公務に支障がない範囲で随時。1～3日間程度の研修を想定。	
168	法学部	教授	柴田潤子	○	独占禁止法入門	価格カルテル、入札談合、下請法、優越的地位の濫用、再販売価格維持行為という独占禁止法の中心的な問題について解説する。	出前講義(高校生)、研修、生涯学習講座が可能		

番号	部局等名	職名	氏名	講演・ 研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
169	法学部	教授	石井一也	○	発展と平和	世界の貧困は、平和を脅かすので、経済発展が必要でしょうか。しかし、それでは、人類に限られた資源を奪い合って、かえって平和を脅かすでしょうか。発展と平和という人類が追求してやまない二つの目標は、果たして同時に達成できるのかを考えます。	小、中、高、一般	不定期(授業や会議のない時)	
170	法学部	教授	石井一也	○	ガンディーの非暴力思想	2018年は、ガンディーの死後70年にあたる年です。グローバル社会が、暴力の様相をますます強めてゆくなかで、ガンディーによる非暴力の思想と実践について考えます。	小、中、高、一般	不定期(授業や会議のない時)	
171	法学部	教授・学部長	三野 靖	○	地方自治全般	地方自治に関すること(個別のテーマは要相談)	市民、学生	随時	地方自治に関する事で、教員が対応可能なテーマ。個別に要相談。
172	法学部	准教授	吉井 匡	○	犯罪捜査と刑事裁判	犯罪捜査や刑事裁判、裁判員制度などの現状について、対象者の関心に応じて講義する。	中学生以上一般まで	応相談	個人が抱える刑事事件・トラブルに関する質問には応じられません。
173	法学部	教授	塚本俊之	○	「君が代」起立斉唱と思想良心の自由	卒業式・入学式における「君が代」の起立・斉唱が憲法19条によって保障された「思想・良心の自由」との関係で引き起こす問題を考える。	一般	応相談	
174	法学部	教授	藤田寿夫	○	消費者契約法について	契約・取引トラブルにおける消費者保護を考える。	一般	応相談	
175	法学部	教授	堤 英敬	○	若者と選挙・政治	2016年から「18歳選挙権」が導入されましたが、今日の若者は政治や選挙をどのように捉えているのでしょうか。また、若者の政治への関与を高めるには何が必要とされるのでしょうか。様々な投票行動のデータや世論調査の結果を分析しながら、こうした問題について考えていきます。	一般(生年、壮年、高年)		
176	法学部	教授	平野 美紀	○	現代の犯罪と犯罪被害者支援制度	現代社会における犯罪や犯罪者の処遇、犯罪被害者支援制度を通して、社会の一面を考える。	関心のある方	応相談	
177	法学部	教授	平野 美紀	○	死をめぐる自己決定と法的諸問題	死をめぐる自己決定(尊厳死や安楽死)などを通して、医療における患者の意思のあり方、それらにかかわる法律問題を考える。	関心のある方	応相談	
178	法学部	教授	肥塚肇雄	○	あなどれない自転車事故ー備えるべきは保険ー	交通安全の重要性はもちろんのこと、自転車事故による被害者と加害者の法律関係と、保険加入の大切さについて考えます。	上記テーマに関心がある方、特に中学生、高校生	応相談	
179	法学部	教授	肥塚肇雄	○	自動運転事故は誰の責任？	ドライバーが存在しない自動運転による事故が発生した場合、誰が責任を負うのか、被害者はどのようにして救済されるのか等について考えます	自動運転と法に関心がある方	応相談	
180	法学部	教授	肥塚肇雄	○	ビッグデータ、個人情報保護、そして、変貌する保険	さまざまな情報が吸い上げられビッグデータ化されています。個人情報を守れるでしょうか？今後さらに、リストウォッチからも健康情報が収集されていくと、生命保険等はどのようなのでしょうか？こういう問題について考えます。	上記テーマに関心がある方	応相談	
181	法学部	教授	肥塚肇雄	○	知って得する生命保険の基礎知識	生命保険契約の基本的なルールは何か、どのような種類があるか等、知っているようで知らなかったりする生命保険の基礎知識を学びます。	上記テーマに関心がある方	応相談	
182	法学部	准教授	辻上佳輝	○	民法全体	遺言について 不動産について など 詳細は相談ください	誰でも	講義にかかからない範囲で	

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
183	農学部	教授	吉井 英文	○	機能性食品粉末の作製とその粉末特性	食品産業において、種々の食品粉末が噴霧乾燥法により作製されている。その中の高度不飽和脂肪酸や脂溶性機能性物質を粉末化する際の工学的課題とその粉末中機能性物質安定性や徐放性について、最近の研究について講義する。	食品企業関係者	12月、3月	
184	農学部	教授	合谷祥一	○	高齢者の食事	高齢者、特に嚥下が不自由になった方の食事について、わかりやすく解説します。	一般		
185	農学部	教授	合谷祥一	○	食品のおいしさ	食品のおいしさ、化学的味(いわゆる味)、物理的味(食感など)について、分かりやすく解説します。	高校生、一般、食品関係の企業		
186	農学部	教授	佐藤正資	○	農薬のはなしー食の安全・安心の理解のために	農薬は私達の豊かな生活を担う重要な物質です。本セミナーでは「食の安全・安心」を理解するために役立つ農薬の話題についてお話しします。	中学校、高校生、一般(青年、壮年、老年)		
187	農学部	教授	山田佳裕	○	香川の水環境、農業と水、水辺の生物 等	水資源に乏しい香川県の水環境は、他の地域と違った特徴を持っています。水域の生態系や水質を解説するとともに、農業と水の関係について考えます。	特に制限無	随時	プロジェクター
188	農学部	准教授	松本由樹	○	おいしいお肉の向こうには…	鶏肉や鶏卵生産の裏側には、農家・研究者・行政獣医師の皆さんの工夫や苦労のおかげである。「鶏の種類」、「鶏を育てる環境」、「鶏の健康を守るために」を知り、現状をお伝えするとともに最新研究を紹介する。	小学校、中学校	いつでも可	iPadやMESHタグを用いたグループワークを実施する。
189	農学部	准教授	松本由樹	○	おいしいお肉の向こうには…	素材の組み合わせにより吸血ダニを捕殺する技術を開発し、薬剤に頼らず被害低減できた。生物多様性に配慮しつつ、国際的な捕獲調査が可能となった。全世界で活躍する畜産・獣医教育での活用事例を紹介する。	高校生	いつでも可	iPadやMESHタグを用いたグループワークを実施する。
190	農学部	教授	深井誠一	○	ヒトはなぜ花を愛でるのか	私たちの暮らしの中で花や緑が必要とされるのはなぜなのか、ヒトという生物からその意味を考えます。	一般、園芸業界	特に指定はありません	急な申し出には対応できないことがあります。
191	農学部	教授	深田和宏	○	身の回りの化学物質	日常生活で使われている化学物質を取り上げ、我々の生活が化学製品の恩恵をどれだけ受けているかを考える。具体的例として洗剤と甘味料に焦点を当て、その製造法や性質、環境や健康に対する影響などを説明する。	一般および高校生	応相談	
192	農学部	准教授	杉山康憲	○	がんの発症メカニズムと抗体医薬品	がんが発症する基本的なメカニズムと現在利用されている標的分子薬である抗体医薬品について説明する。	一般成人、高校生	応相談	
193	農学部	准教授	杉田左江子	○	お米の起原、品種改良について	私たちの主食であるお米がどのようにして作物として利用されるようになったのか、また、お米の品種改良の方法について紹介します。	高校生、一般	応相談	
194	農学部	教授	川村 理	○	食の安全(食品添加物、残留農薬、放射性物質、カビ毒、食中毒、身の回りの毒など)	食の安全を脅かす事柄が多く報道されていますが、必ずしも科学的に正しい情報とは限りません。科学的に正しい食の安全についてわかりやすく講義します。	高校生以上、一般の方	随時可能。日時や講演内容・時間については事前にご相談下さい。	液晶プロジェクターとスクリーンが必要
195	農学部	教授	川浪康弘	○	植物が持っている香りの話	植物はそれぞれ特有の芳香を持っているが、昆虫を引き寄せ受粉を託したり、逆に害虫を寄せ付けないよう植物を守るために香りを産出すると考えられている。これらの香り成分について、分かりやすく説明する	中学生、高校生、一般	要相談	
196	農学部	教授	藤田政之	○	植物の環境ストレスと応答	植物を取り巻く様々な環境ストレスを紹介し、それらに対する植物の応答、適応、耐性機構について概説する。	一般		

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
197	農学部	准教授	小林剛	○	香川県の森林の特徴と植物の生態	香川県の森林の現状と諸問題、里山に生育する植物の生活、竹林の拡大の影響とその対策、ほか	小学生～一般;企業(対象者により内容を調整します)	主として大学の通常カリキュラムの講義実施期間・時間外	
198	農学部	教授	市村和也	○	植物バイオテクノロジーの話	植物バイオテクノロジーの例として、遺伝子組換え技術や遺伝子組換え作物がどういふものか易しく解説します。また、植物バイオテクノロジーを使った研究や応用例についても簡単に紹介します。	一般(青年、壮年、高年)	前期、夏休み	
199	農学部	教授	市村和也	○	植物の機能とバイオテクノロジー	本講義では植物の代表的な生理機能である光合成と、生長やストレス応答と密接に関わる植物ホルモンについて概説します。次に、遺伝子組換え技術が中核となる植物バイオテクノロジーについても紹介します。	高校生、一般(青年、壮年、高年)	前期、夏休み	上記の植物バイオテクノロジーの話に植物に関する授業要素を加えた内容です。
200	農学部	教授	片山健至	○	森林とそのバイオマスの恵みを知ろう	森林は古来、人間の生活と文化の必需品を供給し、地域と地球の環境を保全しています。近年はバイオマスとして注目されています。森林と森林バイオマスの恵みについて話します。	高校生、一般(青年、壮年、高年)	随時可能ですが、日時などについては応相談	
201	農学部	教授	片山健至	○	天然の高分子化合物と人間生活	生物及びバイオマスは、主に高分子化合物(ポリマー)からできています。また、私達は多くの物質に囲まれて、豊かな生活と文化を営んでいます。例えば、木材、紙、食品(デンプン、タンパク質)、天然ゴム、ウレシなどであり、これらの生物・バイオマス由来の天然高分子化合物について話します。	高校生、一般(青年、壮年、高年)	随時可能ですが、日時などについては応相談	
202	農学部	教授	片山健至	○	讃岐三白から始めていろいろな物質を学ぼう	讃岐三白(塩・綿・砂糖)の物質としての特徴を学び、化学に詳しくなろう。塩は無機化合物、綿と砂糖は有機化合物、そして綿は高分子化合物(繊維状)で、砂糖は低分子化合物(二糖)である。さて、米、希少糖、さらにウドン、手袋、漆器はどうであろうか。	高校生	随時可能ですが、日時などについては応相談	
203	農学部	教授	望岡亮介	○	暑さに負けないブドウの品種改良	地球温暖化により、ブドウの色づきに問題が出てきていますが、栽培ブドウの近縁種の紹介とそれを用いて品種改良した事例紹介をします。	小学校(高学年)、中学校(全学年)、高校(全学年)、一般成人	個別に調整	
204	農学部	准教授	柳田 亮	○	天然発がんプロモーターの化学	天然に存在する植物、微生物、動物由来の発がんプロモーターの構造、活性、作用機構について。			
205	農学部	教授 理事・副学長	片岡 郁雄	○	キウイフルーツの近縁植物と品種改良への活用	キウイフルーツの仲間であるマタタビ属植物の紹介とそれらを活用した品種改良について紹介します。	一般成人	個別に調整します	
206	農学部	教授	小川 雅廣	○	食品としてのオリーブの魅力	オリーブの歴史、オリーブ果実(オリーブオイル、オリーブ牛などを含む)の魅力、オリーブ葉(オリーブ茶、オリーブハマチなどを含む)の魅力について紹介する	一般	特になし	
207	農学部	教授	小川 雅廣	○	オリーブ学入門	オリーブの歴史的背景、栽培法、活用法、機能性、産業利用など * (担当者:農学部教員 数名)	一般	応相談	
208	農学部	准教授	亀山 宏	○	政策評価入門	インパクト評価法の最近の発展の成果を踏まえて、様々な施策の効果を評価する。	市町の職員	定時授業の期間以外	H29登録 パソコンの活用やワークショップ形式で
209	農学部	教授	田村 啓敏	○	食品の安全教育と食のグローバル化	食品産業が東南アジアなどを中心にグローバル化している。食品の60%を輸入している日本の食品安全を確保する取り組みは重要である。その現状と取り組みを紹介する。	9月、12月、3月頃	食品関係の企業など	午後6時以降に限る

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
210	農学部	教授	柳 智博	○	イチゴに関するもの	生産, 科学, 歴史	一般	随時	
211	農学部／瀬戸内圏研究センター	教授	一見和彦	○	瀬戸内海の生物と環境問題	瀬戸内海に生息する微細なプランクトンやアサリなどの生態について紹介すると共に、赤潮や漁獲量の減少など、瀬戸内海が抱える環境問題について解説する	高校生・一般	日程調整による	Power Pointの使用
212	農学部／瀬戸内圏研究センター	教授	多田 邦尚	○	海洋科学、瀬戸内海の環境	①「海の科学」:海水の性質や、そこに生息する生物、さらに海洋の食物連鎖や物質循環について ②「瀬戸内海の環境」:身近な瀬戸内海について、過去の高度経済成長期から現在までのその環境の変化について	小学生(5年以上)、中学生、高校生、一般市民	個別に調整	
213	国際希少糖研究教育機構(農)	准教授	森本 兼司	○	希少糖の作り方～砂糖との違い～	希少糖の1種D-ブコースは血糖値の上昇を抑える働きや肥満の予防作用がある。またそれはレアシュガースウィートにも含まれている。これらを安全に生産する方法や砂糖の違いについて解説する。	高校生、専門高校生、大学生、一般人、企業など広い対象に対応可能	随時可能ですが、日時などについては応相談 液晶プロジェクターとスクリーンがあること	
214	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授、副機構長、危機管理先端教育研究センター長	白木 渡	○	防災、減災、危機管理に関する内容について、ご要望に応じてご相談受けします。 (担当:白木 渡、金田義行、長谷川修一、藤澤一仁、松本秀應、野々村敦子、磯打千雅子)	南海トラフ巨大地震の地震・津波災害に対して、災害現象のメカニズムや備える対策についてわかりやすく講演・研修を行います。 キーワード:被害予測、地震・津波シミュレーション、防災計画、土砂災害、ため池災害、避難所運営、ボランティア、防災まちあるき、防災マップづくり、避難訓練	一般、企業、行政等	常時	プロジェクター、スクリーン など 連絡先:藤澤先生 (CC:林さん) H29登録
215	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授、副機構長、地域強靱化研究センター長、学長特別補佐	金田 義行	○	〃	〃	〃	〃	〃
216	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	教授	長谷川 修一	○	〃	〃	〃	〃	〃
217	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	地域強靱化研究センター 副センター長	藤澤 一仁	○	〃	〃	〃	〃	〃
218	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	危機管理先端教育研究センター 副センター長	松本 秀應	○	〃	〃	〃	〃	〃
219	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	准教授	野々村 敦子	○	〃	〃	〃	〃	〃
220	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特命准教授	磯打 千雅子	○	〃	〃	〃	〃	〃
221	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授、副機構長、危機管理先端教育研究センター長	白木 渡	○	想定外の災害や危機事態にいかに対応するか	想定を超える災害や危機的な状況におかれた場合の防災教育、減災・縮災(災害レジリエンス)の考え方について分かり易くお話しします。また危機管理計画(BCP/DCP)、国土強靱化地域計画策定の意義・重要性・必要性、策定方法についてお話しします。	一般、教育関係者、防災・危機管理に携わっておられる行政や企業の方	常時	プロジェクター、スクリーン など 連絡先:藤澤先生 (CC:林さん) H29登録
222	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授、副機構長、危機管理先端教育研究センター長	白木 渡	○	「災害と危機管理」、「事業継続計画(BCP)と地域継続計画(DCP)」、「災害レジリエンス」	個人、企業、地域コミュニティ、市町村の防災・危機管理対策について分かりやすく解説します。	一般	常時	プロジェクター、スクリーン など 連絡先:藤澤先生 (CC:林さん) H29登録

番号	部局等名	職名	氏名	講演・研修会等	テーマ及び講演内容		対象者	講演・講義可能時期 (提供可能時期)	必要とする条件、その他事項
					テーマ	内容			
223	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	特任教授、副機構長、地域強靱化研究センター長、学長特別	金田 義行	○	減災科学	災害前、災害時、災害後のそれぞれのステージで活躍できる人材育成とシンクタンク機能についての相談をお受けいたします。	中高生含む市民の皆さん	常時	特になし 連絡先: 林さん H29登録
224	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	地域強靱化研究センター 副センター長	藤澤 一仁	○	行政と防災・危機管理	地震や自然災害対策について、関係法や関係規程などとの関連について、行政機関として承知すべきことについてわかりやすく講演・研修を行います。 キーワード: 災害対策基本法、災害救助法、水防法、防災計画、土砂災害、避難所運営、災害対策本部運営訓練等	地方公共団体	常時	プロジェクター、スクリーン など 連絡先: 藤澤先生 (CC: 白木先生、 林さん) H29登録
225	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	危機管理先端教育研究センター 副センター長	松本 秀應	○	地震と違って事前に備えられる風水害についてどう備えるか、情報の視点から考えます	豪雨災害は事前情報が多く、備えることで大きく被害を減らせることが出来る災害です。気候変動などにより激甚化する風水害にどう対応すればいいのか。確実な避難(行動)に結びつく情報について受講者と共に考えます。	中学生、高校生、一般など、受講する対象者に合わせて内容を調整します。	随時可能(具体的な日時、所要時間についてはご相談ください)	プロジェクターとスクリーン あるいは大型モニターTV 連絡先: 藤澤先生 (CC: 林さん)
226	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	危機管理先端教育研究センター 副センター長	松本 秀應	○	大震災の際に一人一人が出来ること、「自助」について考えます	自分の命は自分で守る、救助される人ではなく救助する人になるために、地震時にはどのようなことが起きるのか、偶然生き残るのではなく、確実に生き残るための「作法」について受講者と共に考えます。	小学生、中学生、高校生、一般など、受講する対象者に合わせて内容を調整します	随時可能(具体的な日時、所要時間についてはご相談ください)	プロジェクターとスクリーン あるいは大型モニターTV 連絡先: 藤澤先生 (CC: 林さん)
227	四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構	危機管理先端教育研究センター 副センター長	松本 秀應	○	地震だ！生き残れた！その次に待っていることは・・・ 避難所運営について考えます	震災時の課題は「いかに生き残るか」。でも、生き残ったあとはどうするか。避難所に「お客様」はいません。避難所ではどのようなことが求められるのか、私たちは何をしなければいけないのか受講生と共にワークショップ形式で考えます。	小学生、中学生、高校生、一般など、受講する対象者に合わせて内容を調整します	随時可能(具体的な日時、所要時間についてはご相談ください)	プロジェクターとスクリーン あるいは大型モニターTV 連絡先: 藤澤先生 (CC: 林さん)
228	生涯学習教育研究センター	センター長・教授	清國 祐二	○	イギリスの社会と学校	かつて栄華を誇ったイギリスは、世界で最も早く発展し、大英帝国を築きました。しかし、20世紀に入り次々に大国に追い抜かれ、長期にわたる低成長の時代を迎えることとなります。学校教育も成功しているとはいえ、かなり大胆な教育改革を進めています。その背景には、失業や移民等による格差社会があります。同じ島国である日本は、イギリスを追いかけているような感じさえします。イギリスを学ぶことで、未来の日本を考えます。	教育問題や学校制度に関心のある方。イギリスの社会に関心のある方。	応相談	